

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年11月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677700173
法人名	有限会社 三木
事業所名	グループホームおおきな木 辻岳 雄川
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南3611 (電話) 0994-24-2001
自己評価作成日	平成29年11月2日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年11月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私ども おおきな木は、南大隅町のほぼ中央にあり、いつでも人の声聞こえる場所に位置しております。名前の通り、玄関前にシンボルツリーのおおきな木があります。私ども職員が、大切にしていることは、利用者様が笑顔で、今日一日が楽しかったと笑顔の絶えない施設作りに努めています。また季節に応じた外出や地域の行事等へも積極的参加し、利用者様が生きがいのある生活が送れるよう暖かみのある、ホーム造りを目指し 努力しております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- (事業所の優れている点)
- ・ホームの理念は2年前に見直しをされているが、理念、介護方針、職員の心得えという3本柱を礎に、利用者が笑顔の絶えない毎日を送り、生きがいをもって生活が送れるよう温かみのあるホームづくりを目指している。職員は、毎朝理念を唱和し理念に沿ったケアの実践に努めている。また、運営者は、職員会議時に理念を踏まえた講話をおこない理念に触れるよう取り組んでいる。
  - ・地域は、高齢者世帯も多く火災や地震、水害などの災害時の協力支援体制は消防団を通じて若者世代を含む4人の協力者を得ることができて、今後の協力体制にも期待が持てるようになった。ホームは、独自の「防災計画書」を作成し、風水害・地震・津波時の対応手順を定めて町役場に届け出ている。また、町からの依頼により災害時の避難場所として協力体制を構築している。
- (事業所の工夫されたい点)
- ・重度化や看取りについては、主治医の意見や家族の意向を踏まえ柔軟に取り組んでいるところではあるが、重度化した場合の段階に応じたホームでの具体的な対応について、「重度化対応・終末期ケア対応方針」の内容を精査し具体的にわかりやすく内容になるよう見直しをされたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域行事等への参加し季節を感じる事が出来る様に心がけている。	職員は、理念、介護方針、職員の心得えを基本として職務にあたるよう取り組んでおり、職員会議で代表者が理念を踏まえて講話をする機会を設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外部との交流を積極的に実施している。夏祭り、中学生による福祉体験学習や慰問等で交流を図っている。	自治会に加入、回覧版を通じて地域の情報を共有しており、地域住民から野菜の差し入れも多い。また、地域の方から体調不良の相談があり職員が医療と連携したり、体験学習やボランティアの受入れをするなど地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	毎年、中学生の福祉体験学習の受け入れ利用者様と触れ合いながら、学習に取り組んでもらっています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の日常の、活動内容の報告と、会議での家族の要望、行政からの提案等を検討しサービスの向上に努めている。	家族とは、月1回の面談の機会を作り、直接、運営についての意見や要望などを聞くようにしている。家族代表は、2ヶ月1回交代で各ユニットから1名が参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	場所的に近い位置にあり、相談事や分からないこと等がある時には直接出向き相談したり、電話等で連絡を取り合っている	地域包括支援センターからは、2カ月1回の会議の案内があったり、外部講師の講演会や研修会への参加を勧められ参加している。また、市主催のイベントの案内もあるが、車いす移動者が増えるなど重度化もあり参加がしづらくなってきている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	処遇会議等で、職員一人一人が拘束の無い支援ができるように知識を深めて行けるように取り組んでいます。」	座位が取れず姿勢が保持できない方がおられ、やむ得ず車いすに着座した時だけ安全ベルトを着用して身体拘束を実施している事例もある。身体拘束をする場合は、処遇会議で十分に話し合いをして家族への説明と同意を得て、食事の間だけ拘束をしている。職員は、行動抑制や身体拘束などの弊害については理解しているが、重度化もあり処遇が困難になってきている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	処遇会議で、話し合い意見交換をし虐待防止の徹底に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会の実施している研修会等へ参加し後見人制度への理解を深める様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所の際施設での生活に不安が無い様に、十分な説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時には、入居者さんを交え、一緒に話しご家族が自由に意見や要望等を出せる様に雰囲気作りに努めています。	家族が面会に来られた時は、ホールで一緒にお茶をしながら、意見や要望が出しやすい雰囲気作りに努めホールの担当職員が対応するようにしている。小遣いの中から買い物の依頼があるなど利用者が暮らしやすくするために、本人や家族に聞きながら出された意見を、職員間で話し合い運営に活かしている。遠方の家族には、電話で聞き取るように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務推進会議や職員会議で、意見や要望を出す機会がある。そのその時話し合いを実施している。	運営者と職員は、必要に応じて面談をするようにしており、業務推進会議では、給与関係、資格手当などの見直しを検討したり、職員会議で職員に報告し業務改善に繋げている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の要望や意見はその都度対応し給与等についても相談が出来ている。一人一人のやる気が出る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人職員には、初任者研修に行かせている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域研修等で交流を図り意見交換を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ホームでの生活環境に、早く慣れてもらえるように不安や心配ごとを無くすように声かけを心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会の来られたらこちらから積極的に会話をする様に努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様の状況、家族の状況」を聞いて入所時のどのような支援が必要であるか見極めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>こちらからは、強要せずに本人様のやりたいことをやりたい時にしてもらい共に楽しい生活を送らせる様に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月入居者様の近況報告書を書いて送付している。必要に応じ電話連絡をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人の方がホームに遊びに来て下さったり、月1回の病院受診時に、馴染みの方に会ったりして話をされたりしている。	外来受診の折、地域の方や知人などと交流する機会がある。また、納骨堂やお寺参り、行きつけの美容院に出かけている。手紙の代読や電話の取次ぎを支援し、関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	昼寝の時間以外和ホールで過ごさりている。孤立することはない。レク等で楽しく過ごされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族が退所されてもからも、来所して下さい。ご家族の方もいらっしゃる。ご本人の近況を聞いたりし励ましを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	処遇会議を開催し、一人一人の思った、気持ちを十分に把握し職員全員が本人様の意向に沿えるようにしている。	処遇会議は毎月開催され、ケース記録、業務日誌、申し送りノートなどでも本人の思いや意向を確認することができる。まったく会話ができない方もおられるが、表情やしぐさ、家族との情報の共有を図り本人の思いを推し量り、本人らしい生活の実現に向けて取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に家族と話し合いを持って自宅から、自分が大切なものを持って来てもらったりし、本人様を尊重し、その人に合わせた生活が送れるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の出来ることを出来る人に実施しれ貫っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様、ご家族からの要望、希望等を聞き作成している処遇会議で職員間の情報も取り入れている。	アセスメントやケアチェック表の活用、処遇会議での職員情報を元に情報収集し、課題分析して本人や家族と話し合い、本人の意向に沿った介護計画を作成している。遠方の家族には、電話で連絡し帰省の時、再度説明して同意をもらうように努めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や業務日誌を記録して職員間で共有している。申し送りノートや受診ノートも活用している。状態が変化したりしたらその都度見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや家族の協力ももらいながら支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に日常の状態を診察してもらい、家族とも連絡して適切な医療を受けられるように支援している	外来受診が多く、2名だけは訪問診療を受けている。また、外来受診は、原則家族に依頼している。認知症外来受診の方もおられ、薬剤師が訪問時、内服薬について最新の情報を得たり、アドバイスをもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師は不在であるが申し送り等で全職員で共有している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は病院訪問し、病院関係者や家族とも密に連絡し情報交換し早期退院に向け話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状況や状態により家族と話し合いを行いホームでどこまで支援が出来るか説明し話し合い支援をしている。</p>	<p>重度化した場合の対応方法は、担当医の意見を聞きながら早い段階から家族と話し合うように取り組んでいる。ホームは、3年前に看取りを経験しているが、その後は実績はない。</p>	<p>「重度化対応・終末期ケア対応指針」が看取りマニュアルの中にあるが、急変時における対応の記載になっているため、重度化した場合のホームの対応方針について具体的に明文化されたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変事故等、気づきに取り組み全職員救命の講習を受け定期的に訓練も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いの元地域の消防団と連携し全職員が行動できるように訓練をしている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施しているが、消防団を通じて地域から4名協力支援者があり、地域との協力体制を築いた。ホームは、独自の防災計画を作成、風水害や地震、津波の対応手順を行政に届け出ている。また、万が一のため居室の窓を掃出しに改造し非常口として使用できるようにしている。水、米、ビスケットなどの非常食を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の人格を尊重しプライバシーを損なわない様声掛けをしている	利用者には、地元言葉で優しく丁寧に声かけし、一人ひとりの人格を尊重して失礼のないよう対応している。職員は、申し送りや職員会議などでプライバシーについて話し合うようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望が自己決定できる様にじっくりと本人様と話し支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	押し付けるのではなくその人その人のペースで過ごせるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分らしく自分から出しを整えるよう支援をしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事だけでなく準備、片づけもできる人をお願いし楽しくできる様に支援している	各ユニットごとに専任の調理員が配置され、誕生日には料理のリクエストやケーキ、手作りおやつを楽しんだり、行事食を楽しみながら季節感などを味わう機会を設けている。また能力に応じてお手伝いをしてもらうなど食事が楽しみになるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の栄養バランス量を考え水分補給も毎日チェックして誤嚥をしない様に注意している必要に応じトロミを利用している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを見守り出来ない所を支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗を少なくする為定期的に声替えをしてトイレ誘導をしている。	布下着の方もおられたり、ポータブルトイレを併用し排泄の自立を図る方もおられる。また、職員が定時でトイレ誘導しなるべくトイレで排泄できるよう自立支援している方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食事や水分も多く摂ってもらい便秘が続くようなら医師に相談し薬を服用してもらう		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その人に会った入浴方でシャワー浴、水槽浴を実施している。状態により全身清拭を実施している	浴槽縁が低く、跨ぎやすい構造になっているため、浴槽に浸かりゆっくりと入浴を楽しまれる方も多い。職員は、利用者の希望や本人の身体状況に合わせた入浴方法を検討し本人の希望やタイミングを見ながら入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	時間に関係なく本人に合わせた休息毎日昼寝はされている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師と連携を取りながら、その時の状態と処方の変化を確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の誕生日のお祝い、季節に応じた行事を計画し楽しみと気分転換ができる様に図っています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い時はドライブや自宅に墓参りに出かけたりし時には買い物を楽しんでもらっている	職員は、「年間行事予定表」を作成し、なるべく外出ができるよう本人、家族の希望や要望を聞きながら支援している。ドライブがてらコスモスやひまわりを見に行ったり、イルミネーションを楽しんでいる。また、家族の協力をもらいながら外出の機会が増やせるよう連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日常は職員の管理であるが、小さな財布を用意しドライブ時や花見等少しずつお金を持って行き買い物を楽しんでもらっている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>贈り物等が届いたりしたときに電話を入れ話してもらっている。毎月の近況報告書の中に手紙を入れて送付している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームはいつも明るくゆったりとした生活空間があります。室温、換気も十分な配慮がされています。また季節に合った花がいつも飾られ皆さんがくつろげるように配慮しています</p>	<p>採光があり、掃除が行き届いた共有スペースであり、対面式キッチンから料理の匂いや音、職員の表情や声が聞こえ五感を刺激する温かみのある空間である。また、ソファ、テーブルや椅子、畳コーナーがあり思い思いに過ごせるよう工夫がされている。壁には、行事の時の写真、折り紙などが掲示されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士が楽しく過ごす事ができる様にしているまたゆっくりくつろげるようにフロア内にソファも準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自分の自宅で使用していたものや家族の写真を飾ったりし、本人様に心地よく過ごせるようにしている</p>	<p>ひ孫のオリジナルカレンダー、位牌や家族写真など使い慣れた物を持ち込み落ち着いた居室になっている。また、趣味の押し花やアルバムが個性を反映し居心地よく過ごせる居室である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に応じ車椅子、歩行器利用している</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない